TOTO

トイレリフト

EWC140型/EWC141型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

必ずお守りください。

取り付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理、改造は行わない** 火災や感電の原因になります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
水場使用禁止	**屋外や浴室など、水がかかったり湿気が多い場所には設置しない** 火災や感電の原因になります。
禁止	**指定する電源（交流100V）以外では使用しない** 火災の原因になります。

⚠ 警告

禁止	**ガタついているコンセントは使わない** 火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せせたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。　傷んだまま使用すると、感電、ショートし火災の原因になります。
	電源コードはトイレリフト本体に巻き付けたり引っ掛けたりしない 便座の動きによってプラグやコードが傷み、火災や感電の原因になります。
	取り付け可能なTOTO製の便座以外は設置しない しっかりと固定できずにガタツキが発生し転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	**電源プラグは根元まで確実に差し込む** 火災や感電の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷み、火災や感電の原因になります。
	ウォシュレットなどの便座を取り付けた際は、トイレリフトを昇降させ、便座の給水ホースや電源コードに無理な力がかかっていないことを確認する 便座の動きによって給水ホースやプラグが傷み、水漏れ、火災、感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止	**硬いものをぶつけたり強い衝撃を与えない** 便器が床から外れて水漏れの原因になります。また、商品が破損したり、転倒してけがをする原因になります。
	便器にガタツキがある場合は取り付けない 便器が床から外れて水漏れの原因になります。また、商品が破損したり、転倒してけがをする原因になります。
	掃除道具などホースの上や近くに置いたりしない トイレリフト昇降時にホースの動きが抑制され、ホースが破損し水漏れの原因になります。
	ウォシュレットの給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水が漏れて室内浸水の原因になります。

⚠注意

禁止	**施工時やメンテナンス時などに、トイレリフトを直接床置きしない** 床を傷つけたり、トイレリフトが傷ついたりする原因になります。
	給水ホースを巻いたり、駆動装置の下に入り込ませたりしない 便座の動きによって給水ホースが傷み、破損して水漏れの原因になります。
	トイレリフトや便座を固定していない状態で、便座に座ってトイレリフトを使用しない 商品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	**持ち運びや作業の際、トイレリフトの便器固定プレートと便座受けプレートの間、便器固定プレートと便器の間に手指を挟まないように注意する** けがをする原因になります。
	設置する場所に紙巻器や手すりなどがある場合は、トイレリフトと干渉しないこと、手指を挟まないことを確認する ご使用者のけがや、商品が破損する原因になります。
	支持脚を床固定する場合、床が木下地の際は、12mm厚以上の構造用合板(JAS 規格品)、または同等以上の下地材に取り付ける 便器が外れ、転倒してけがをする原因になります。
	昇降方向の切り替え作業は、必ず施工業者の方が行う 作業が不十分だと、座面が傾いて、転倒してけがをする原因になります。
	施工終了後、便器あるいはトイレリフトが固定ねじのゆるみによりガタツキがないか確認する 便器が床から外れて水漏れの原因になります。また、商品が破損したり、転倒してけがをする原因になります。

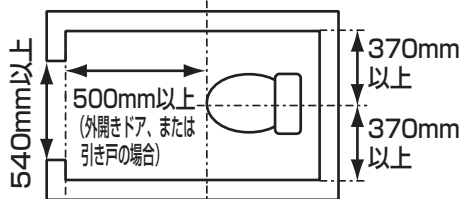
2 取り付け前の注意

トイレリフトを取り付けるトイレを確認してください

■トイレの間口について

トイレのドアは有効開口幅が540mm以上であれば、トイレ内への搬入は問題ありません。ただし、EWC141型（アームレスト付きタイプ）に関しては、トイレ内に搬入後にアームレストを取り付けてください。

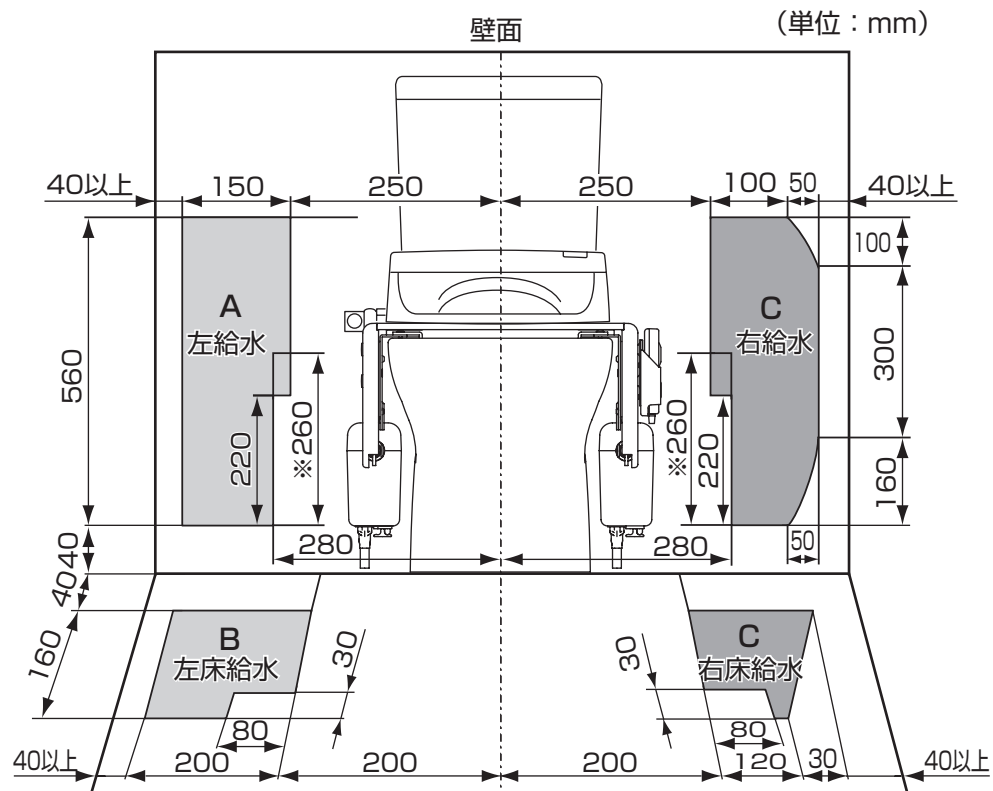
■トイレ内の設置条件について

トイレ幅は便器中心より壁面までの距離を370mm以上、便器前端から前側のドアまたは壁までの距離を500mm以上確保してください。紙巻器、手すりなどの取付位置は、トイレリフト本体と干渉しないような位置にしてください。

■便座について

取付可能なTOTO製の便座以外はセットしない。不明な場合は弊社へ必ずご確認ください。
トイレリフトをご使用になる際は、必ず便ふたがない便座をご使用ください。

■給水取り出し位置について

給水の取り出し位置が下図のトイレリフトが利用可能な給水取り出し範囲の中にあるか確認してください。

〈トイレリフトが利用可能な給水取り出し範囲〉

※車いす対応便器(便器高さ417mmの場合)

■ウォシュレット以外の便座をご使用の場合

ウォシュレット以外の便座をご使用の場合でも将来ウォシュレットに交換する場合に給水ホース接続部品(エルボ、ホースクランプ)が必要となりますので、工事完了後にお客さまにお渡しし、大切に保管していただくようご説明ください。

■給水ホースについて

給水の取り出し位置によっては給水ホースの長さが不足する場合があります。不足する場合はウォシュレットの説明書を参考に適切な長さのホースをご購入ください。また、右給水の場合は2mのホースをご購入ください。

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターへおご連絡ください。

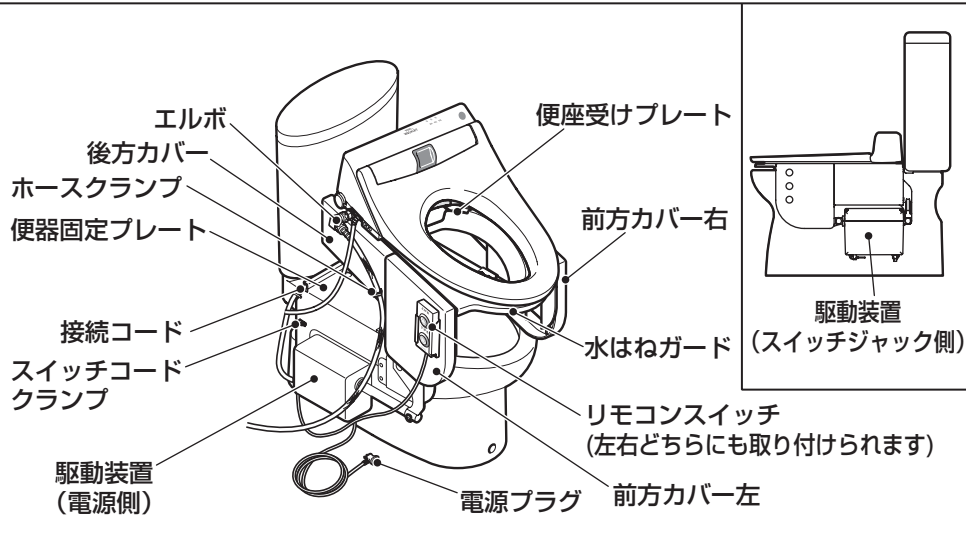
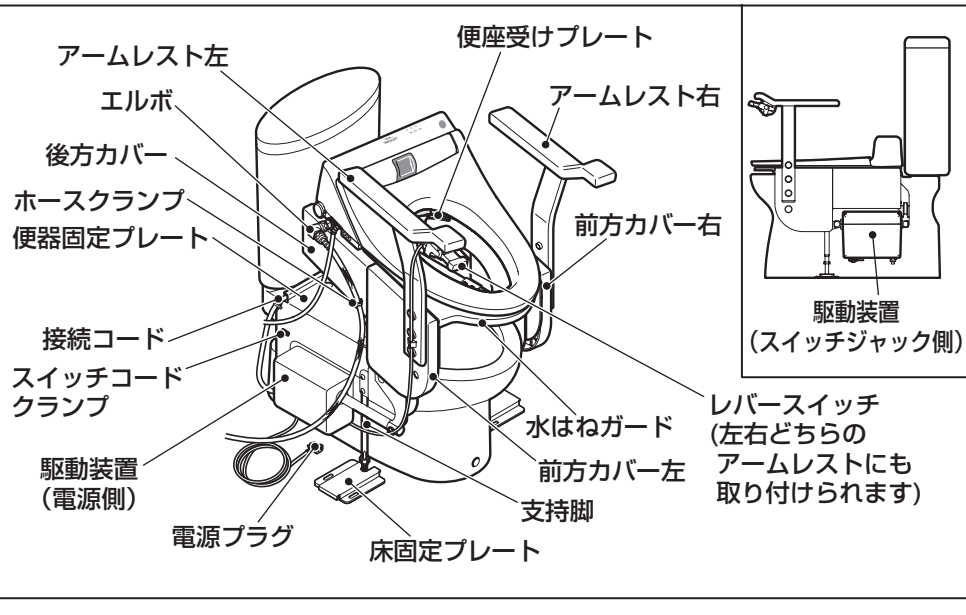
TEL 0120－8282－55
FAX 0120－8272－99

※携帯電話・PHSからのご利用は・・・・
(有料) へ093-952-8682

3 各部の名称

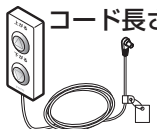
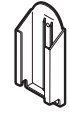
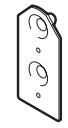
EWC140型（アームレストなし）

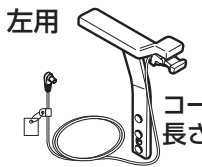
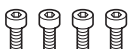
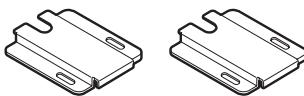
EWC141型（アームレスト付き）

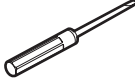
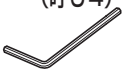
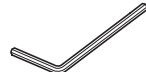
アームレスト左
エルボ
後方カバー
ホースクランプ
便器固定プレート
接続コード
スイッチコード
クランプ
駆動装置
（電源側）
電源プラグ
床固定プレート
便座受けプレート
アームレスト右
前方カバー右
水はねガード
前方カバー左
支持脚
レバースイッチ
(左右どちらの
アームレストにも
取り付けられます)
駆動装置
（スイッチジャック側）

4 梱包内容の確認

梱包内容を確認してください

トイレリフト（EWC140型、141型）共通

名称	印刷物	トイレリフト本体		便器固定ボルト
数量	一式	1台		一式（各2個）
形式	取扱説明書 施工説明書 （本書）	EWC140型 (アームレストなし)支持脚なし 電源コード長さ：1.5m	EWC141型 (アームレスト付き)支持脚あり 電源コード長さ：1.5m	ボルト 皿ばね 平座金 樹脂ワッシャー ゴムブッシュ

名称	前方カバー		後方カバー	水はねガード	水漏れ防止パッキン
数量	左右各1個		2個 （左右兼用）	1個	1個
形式	左用	右用			※2

※1 本体ワンタッチ着脱可能なウォシュレット、ウォームレット、脱臭普通便座以外の便座をご使用の場合は、下記部品は不要ですが将来ウォシュレットに交換する場合に必要となりますので、工事完了後にお客さまにお渡しし、大切に保管いただくようご説明ください。

※2 水漏れ防止パッキンは、水はねガードと便座のすき間から水漏れする場合に水はねガードにはってください。はりかたは取扱説明書のP.16をご確認ください。

名称	ねじ	平座金・歯付座金	固定板	エルボ	ホースクランプ	注意書
数量	2本	各2個	2個	1個	1個	1部
形式	(M6×16)					

トイレリフトEWC140型(アームレストなし、リモコンスイッチタイプ)

名称	リモコンスイッチ	リモコンホルダー	ホルダー取付ねじ	ホルダー取付木ねじ
数量	1個	1個	2本	2本
形式	コード長さ3m		ねじ（M4×6）	木ねじ（φ4×20）

名称	リモコンホルダー取付プレート	プレート取付ねじ	ホールキャップ
数量	1個	2本	6個
形式		ねじ（M8×16）	

トイレリフトEWC141型（アームレスト付き、レバースイッチタイプ）

名称	アームレスト		アームレスト取付ボルト	ホールキャップ
数量	左右各1本		4本	8個
形式	左用 コード長さ3m	右用	六角穴付きボルト（M8×25）	

名称	床固定プレート	床固定木ねじ
数量	2個	1式（各4個）
形式		木ねじ（φ6×30） 樹脂ワッシャー

用意していただく工具

5 外形寸法図

6 設置方法

設置手順

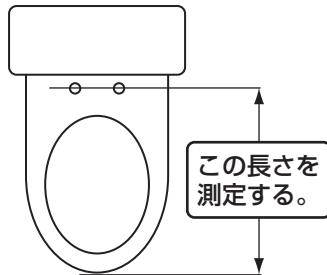
1 既存便座の取り外し

既存便座の取付説明書などを参考に既存便座を取り外してください。再度、取り外した商品を利用することがある場合は、外した部品を紛失しないように大切に保管しておいてください。

注意	必ず実行	ウォシュレットの給水ホースを引き抜く前に、必ず止水栓を締める 水が漏れて室内浸水の原因になります。
		ウォシュレットを取り外す際は、給水ホース内の残水を洗面器などで受ける 水が漏れて室内浸水の原因になります。
		必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業する けがをするおそれがあります。

2 トイレリフト本体の設置

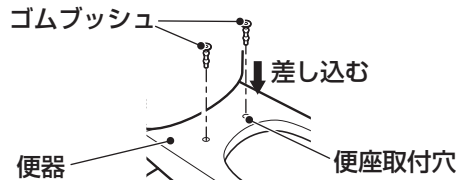
トイレリフトに同梱されている便器固定ボルトを使用して、トイレリフトを便器に取り付けます。

2-1. 便器のサイズを調べる

約47cm：大形サイズの便器
(E：エロンゲートサイズ)

約44cm：標準サイズの便器
(R：レギュラーサイズ)

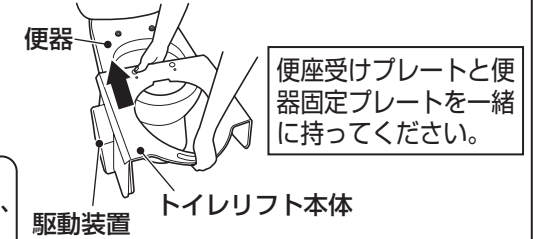
トイレリフトにはっている設置位置ラベル (E, R) に合わせて設置してください。

2-2. ゴムブッシュを便器に取り付ける

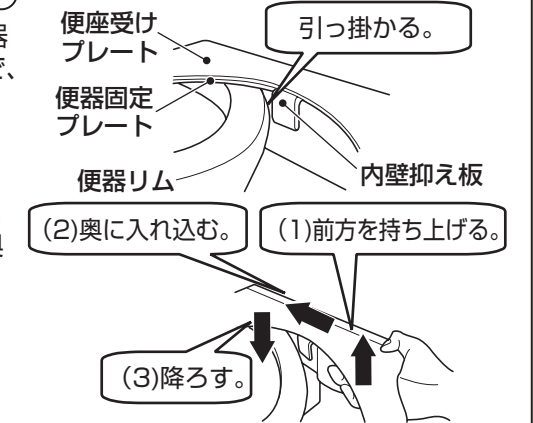
① 同梱のゴムブッシュを便器の便座取付穴に差し込んでください。

警告	必ず実行	トイレリフトと便器の接続には、必ず同梱している便器固定ボルト（ゴムブッシュ）を使用する 古い便器固定ボルトを使用すると、動作中に便器固定ボルトが外れ、転倒してけがをする原因になります。

2-3. トイレリフトをトイレ内に搬入し、仮設置する

①トイレリフト本体をトイレ内へ搬入し、便器前方から、駆動装置が便器に当たらないように注意しながら、便器の奥側に向かって少し入れてください。

便座受けプレートと便器固定プレートを一緒に持ってください。

ポイント

上方からでは駆動装置が引っ掛かり、入らないことがあります。

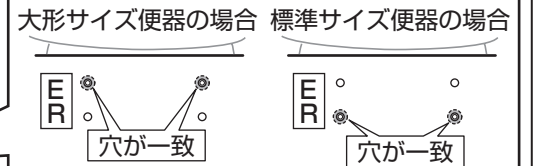
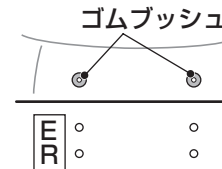
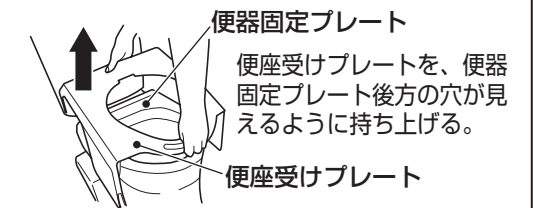
②そのまま押し込むと内壁抑え板が便器リムの外側に引っ掛かって入らないので、

(1) 便器固定プレートを少し持ち上げて

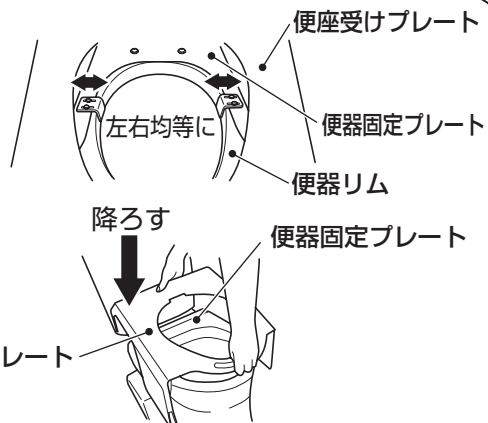
(2) 内壁抑え板が便器リムを乗り越えて便器リム内側に入るまで奥に入れ込んで

(3) 便器固定プレートを降ろしてください。

③トイレリフトの位置を調整します。

(1) 便座受けプレートだけを持って、便座受けプレートを持ち上げてください。

(2) その状態で、便器固定プレートの後方の穴が2-2で差し込んだゴムブッシュの穴と一致するように便器のサイズに応じてトイレリフト本体を動かして調整してください。

警告	必ず実行	駆動装置間の接続コードが便器固定プレートの下敷きにならないよう注意する 商品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

(3)便器固定プレートが便器リムに左右均等に乗るようにトイレリフト本体を動かして調整してください。

(4) 便座受けプレートを降ろしてください。

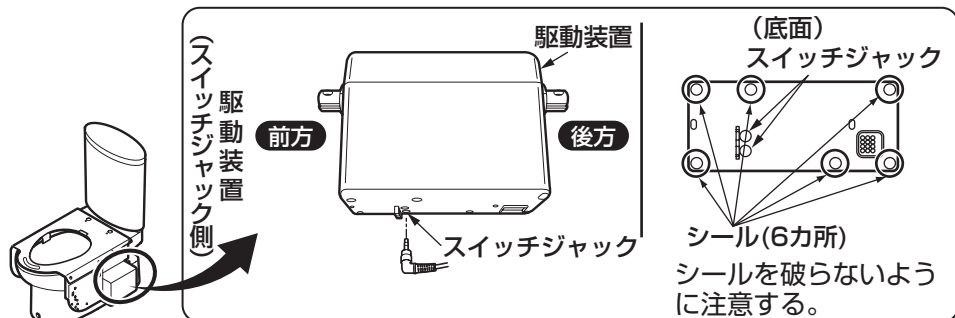
2-4. 電源の投入

便座受けプレートを上昇させないと、工具が使えないため便器へ固定ができません。
本体を固定するために、トイレリフトを作動させて、便座受けプレートを上昇させます。

① 操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）のプラグを便器に向かって右側の駆動装置（スイッチジャック側）底面のスイッチジャックに根元まで確実に差し込んでください。 リモコンコードに付属しているクランプはまだ取り付けないでください。「7-1」で取り付けます。

注意

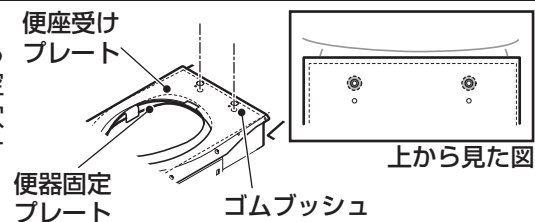
必ず実行

操作スイッチのプラグをスイッチジャックに抜き差しする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う
便座受けプレートが下降し、手指を挟んでけがをする原因になります。

ポイント

スイッチジャックはスイッチを2つまで取り付けることができるように、正面向かって右側の駆動装置の底辺に2つ設けています。どちらのスイッチジャックに差し込んでも同じように動作します。

②トイレリフトの電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

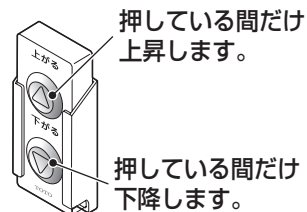
2-5. 本体の固定

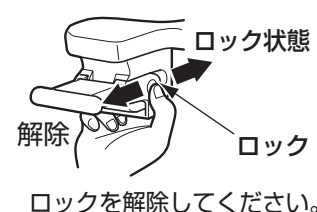
① 操作スイッチを操作し、真上から見て、便座受けプレート後方に空いている穴からゴムブッシュの穴が中心に見える位置まで便座受けプレートを上昇させてください。

注意

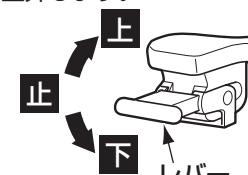
必ず実行

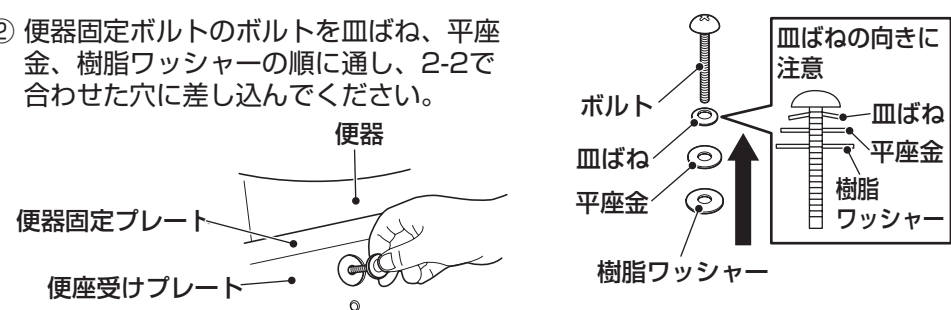
本体を固定せずに上昇させるため、本体が便器から落ちないように注意する
本体が便器から落ちて、けがをする原因になります。

【操作スイッチ操作方法】

(1) リモコンスイッチ（EWC140型の場合）

(2) レバースイッチ（EWC141型の場合）

ロックを解除してください。

上に押し上げている間だけ上昇します。

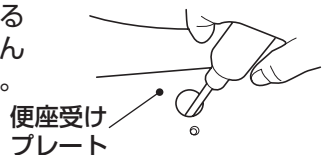
上
止
下
レバー

下に押し下げている間だけ下降します。

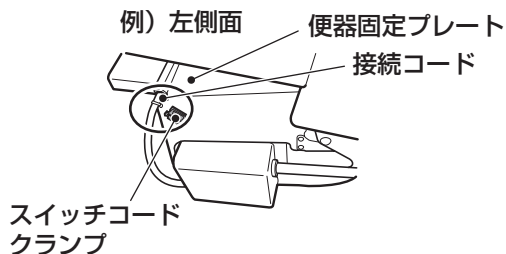
② 便器固定ボルトのボルトを皿ばね、平座金、樹脂ワッシャーの順に通し、2-2で合わせた穴に差し込んでください。

注意

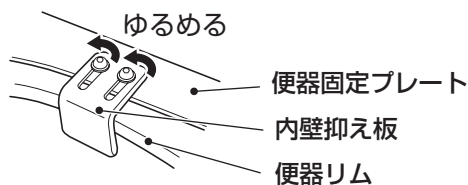
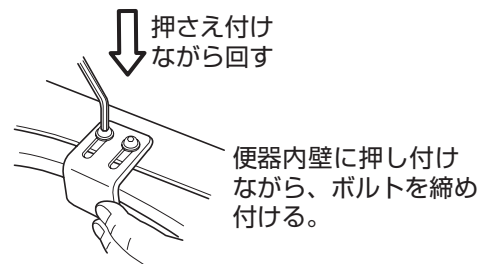
必ず実行

同梱している樹脂ワッシャーを必ずボルトの一番下に入れる
トイレリフトの傷、塗装はがれの原因になります。

③便座受けプレート後方に空いている穴からプラスドライバーを差し込んで、ボルトを締め付けてください。

便座受けプレート

プラスドライバーでボルトが回らなくなるまでしっかり締め付ける（かなり回します）

④駆動装置間の接続コードが便器固定プレート後部の下側空間にしまい込まれていることを確認してください。

⑤内壁抑え板を固定します。

(1) 六角穴付きボルトを六角レンチ（呼び4）でゆるめ、内壁抑え板が便器リムの内壁に当たるように位置を調整してください。

(2) 内壁抑え板を便器内壁に押し付けながら、ボルトを締め付けてください。左右の内壁抑え板共に締め付けてください。

ポイント

工場出荷の状態では、内壁抑え板が最も飛び出した状態になっています。

警告

必ず実行

トイレリフトを取り付けたあと、しっかり固定されていることを確認する

商品が不安定になり、転倒してけがをする原因になります。

注意

必ず実行

六角レンチを六角穴付きボルトに押さえ付けながら回す

押さえ付けないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。

3 昇降方向の切り替え

3-1．斜め昇降(出荷時)か垂直昇降を選択する

工場出荷の状態では、斜め昇降にセットされています。ご使用になられる方の身体状況に合わせて、垂直昇降への切り替えができます。斜め昇降のままで良い場合は、「4 側面カバーの取り付け」へ進んでください。

●使いかた
（こんな方におすすめです）

【おすすめの方】
- 軽くおじぎをする姿勢から自然に立ち上がることができる方。
- 前方へ押し出される感じが立ちやすい方。

【動作のPoint】
- 立ち座り時の人の動きに合わせた自然な経路とスピードで、斜め方向に昇降します。
- 便座の角度が0゜～15゜の範囲で昇降し、お好みの位置で止めることができます。

【おすすめの方】
- 立ち上がるときに「高さ」が足りず、前に押し出されると不安定になる方。
- 脚が曲げづらい方、頭を前方に傾けることに不安を感じ、 座位を安定させたまま立ち上がりたい方。

【動作のPoint】
- 座ったままの安定した姿勢で垂直方向に約117mm昇降し、お好みの位置で止めることができます。

3-2．斜め昇降(出荷時)→垂直昇降への切り替え

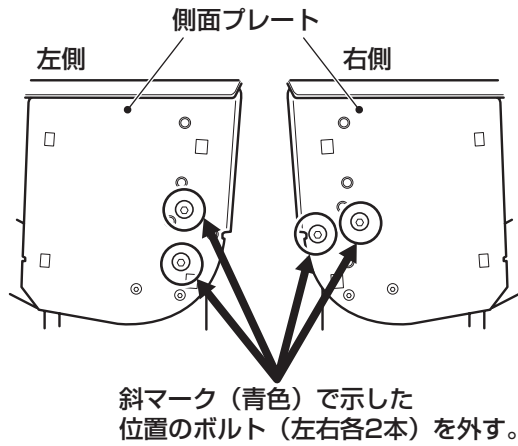
①操作スイッチで便座受けプレートを一番下まで下げ、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

必ず実行

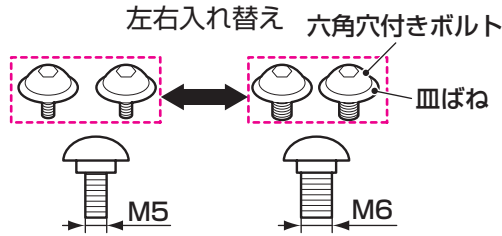
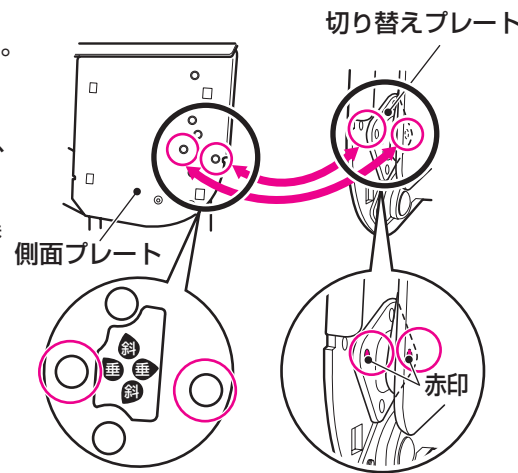
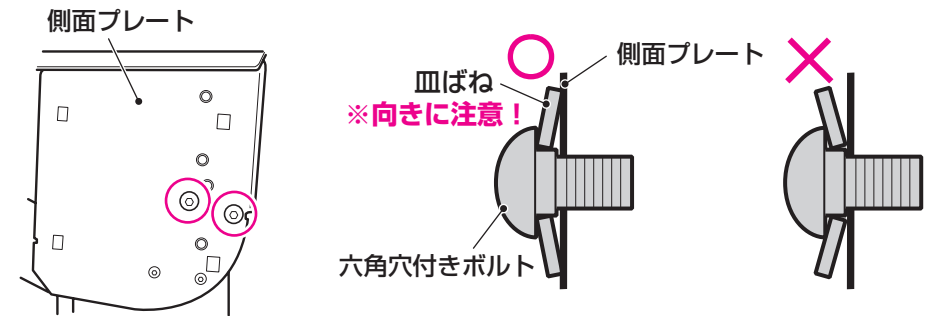
便座プレートを必ず一番下まで下げる

切り替え用のボルトを外した際に、便座受けプレートが急に下がり、けがをする原因になります。

②図に示す六角穴付きボルト(左右各2カ所）を六角レンチ(呼び4)で取り外してください。

ポイント
切り替えボルトは、取り付いている位置および、ボルトの径が左右で異なります。
六角穴の大きさは左右同じです

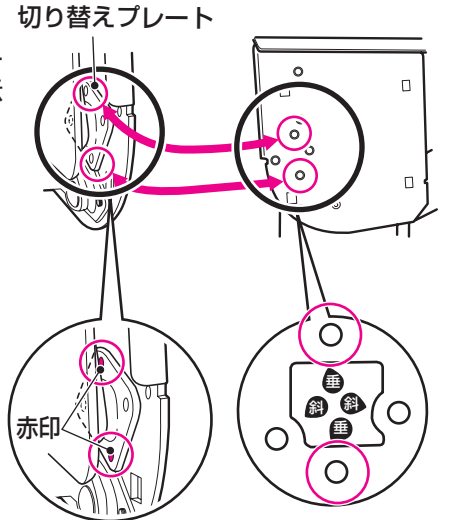
注意
必ず実行
六角レンチを六角穴付きボルトに押さえ付けながら回す
押さえ付けないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。

③②で外した左右各2本の六角穴付きボルトを左右入れ替えてください。

ポイント
切り替えボルトは、左右で径が異なります。
これは、片側のみの昇降方向切り替えによるトイレリフト本体の破損を防止するためです。

④左側を『垂直昇降』へ切り替えます。
側面プレート外側の穴は、垂マーク（赤色）で示した穴を使用します。
内側にある切り替えプレートの穴は、赤印のついた穴とその対角側にある穴を使用します。
これら、側面プレートの穴と切り替えプレートの穴が合うように切り替えプレートを動かして合わせてください。

⑤④で合わせた穴に、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを皿ばねの向きに注意して差し込み、六角レンチ(呼び4)で強く締め付けてください。

警告
必ず実行
皿ばねを必ず指定された向きに入れる
向きを逆にして取り付けると、ボルトがゆるみやすく、ボルトが外れて、転倒してけがをする原因になります。

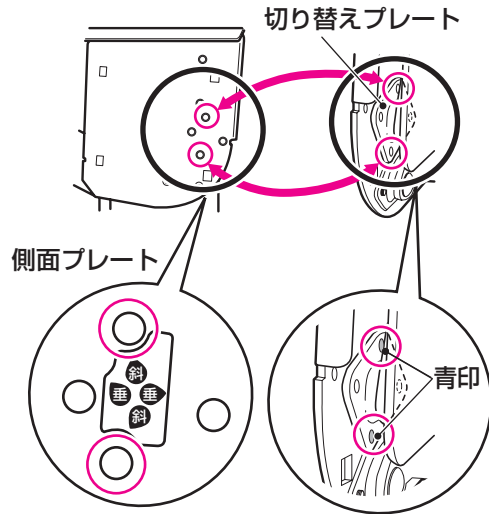
ポイント
ボルトは位置決めのため、仮締めしたあと、本締めしてください。穴の位置が合いにくい場合は、便座受けプレート後端を上下に動かしながらスムーズに締め込める位置を見つけてください。

注意
必ず実行
六角レンチは六角穴付きボルトに押さえ付けながら回す
押さえ付けないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。

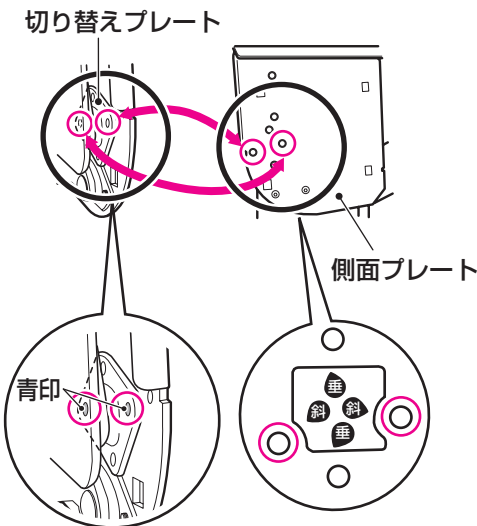
⑥右側を『垂直昇降』に切り替えます。
左側同様に、トイレリフト側面プレート外側の穴は、垂マーク（赤色）で示した穴を使用します。
内側にある切り替えプレートの穴は、赤印のついた穴とその対角側にある穴を使用します。
これら側面プレートの穴と、切り替えプレートの穴を合わせ、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。

⑦便座受けプレートを手で持ち上げ、『垂直昇降』に切り替わっていることを確認してください。

3-3．垂直昇降→斜め昇降への切り替え

①～③までは、『斜め昇降→垂直昇降への切り替え』と同様です。

④左側を『斜め昇降』に切り替えます。
側面プレート外側の穴は、斜マーク（青色）で示した穴を使用します。
内側にある切り替えプレートの穴は、青印の付いた穴とその対角側にある穴を使用します。
これら側面プレートの穴と切り替えプレートの穴が合うように切り替えプレートを動かして合わせてください。

⑤③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。
締め付けの際の注意・ポイントは、『3－2斜め昇降（出荷時）→垂直昇降への切り替えの手順』でご確認ください。

⑥右側を『斜め昇降』に切り替えます。
左側同様に、側面プレート外側の穴は、斜マーク（青色）で示した穴を使用します。
内側にある切り替えプレートの穴は、青印の付いた穴とその対角側にある穴を使用します。
これら側面プレートの穴と切り替えプレートの穴を合わせ、③で左右入れ替えた六角穴付きボルトを差し込み、六角レンチ（呼び4）で強く締め付けてください。

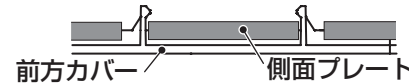
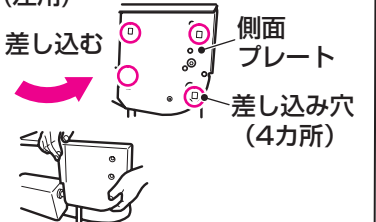
切り替えプレート
側面プレート
青印

⑦便座受けプレートを手で持ち上げ、『斜め昇降』に切り替わっていることを確認してください。

4 側面カバーの取り付け

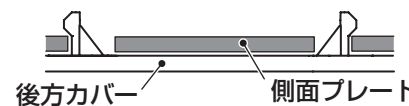
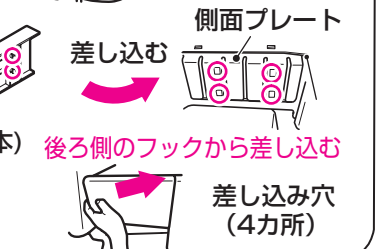
4-1．トイレリフト側面にカバーを取り付ける

必ず前方カバーから付けてください。（後方カバーから付けると前方カバーが付けられません）

①前方カバーを取り付けてください。
トイレリフト側面プレートの差し込み穴に、前方カバー裏面のフックを差し込んでください。（左右とも）

フックを差し込んだあとのイメージ

②前方カバー同様、後方カバーを取り付けてください。（左右とも）

フックを差し込んだあとのイメージ

フック(4本)
後ろ側のフックから差し込む
差し込み穴
（4カ所）

5 便座の取り付け

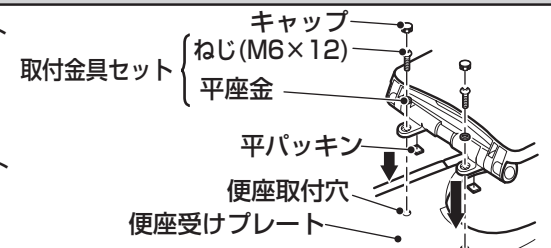
5-1．便ふたを取り外し、便ふたスペーサーを取り付ける

トイレリフトをご使用になるときは、必ず便ふたを取り外してください。
その場合、必ず各便座に合った便ふたスペーサーを取り付けてください。
※便ふたスペーサーの取付方法は、別梱包の便ふたスペーサー取扱説明書をご参照ください。
※便ふたなし仕様の便座をご購入の場合は、便ふたスペーサーの取り付けは必要ありません。
※ソフト閉止付き普通便座（TC300/301）は現場で便ふたスペーサーの取り付けはできません。ソフト閉止付き普通便座をご使用になる場合は、便ふたなし仕様をお求めください。

5-2．ソフト閉止付き普通便座の場合

取り付けには別売の取付金具セット〔EW31018、ねじ(M6×12)・平座金各2個〕が必要です。

①別売の取付金具セットで便座をトイレリフトの便座受けプレートに固定してください。

②キャップを取り付けてください。

5-3. ウォームレット、脱臭普通便座、ウォシュレットの場合

警告

禁止 **取り付け可能なTOTO製の便座以外はセットしない**
しっかりと固定できずにガタツキが発生し、転倒してけがをする原因になります。

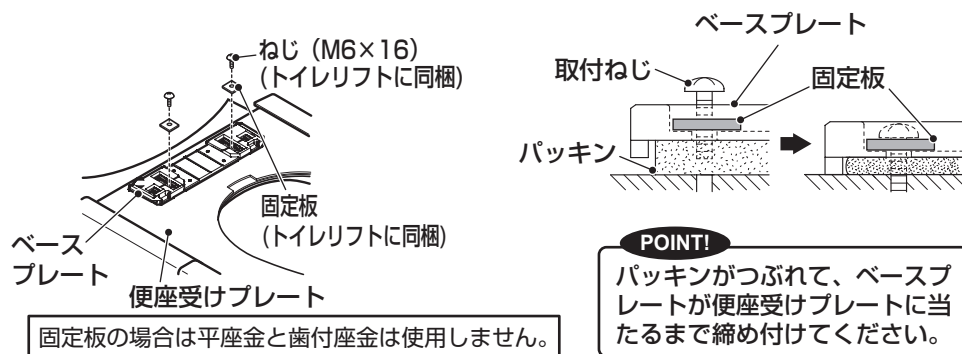
必ずトイレリフトに同梱の専用の便座ベースプレート取付ねじを使用してください。
ベースプレートの種類によってベースプレートを取り付けるねじの位置と使用する部品が異なります。

便座によってベースプレートの取り付けは A「固定板タイプ」 B「平座金、歯付き座金タイプ」の2種類があります。

A 固定板タイプの取り付け

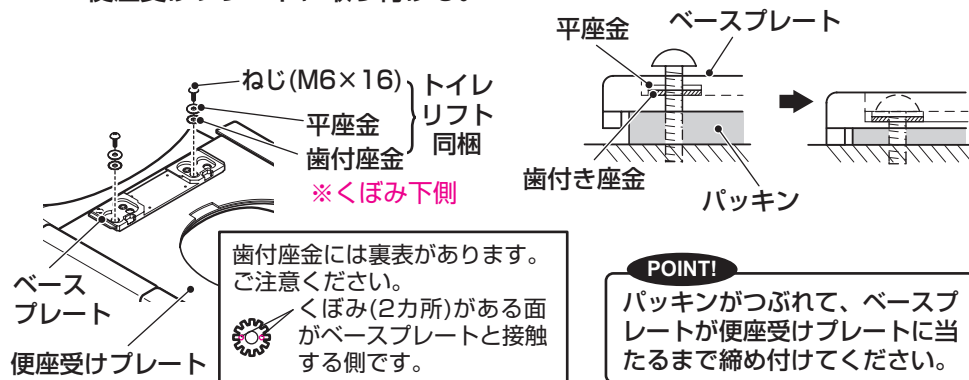
便座を交換する場合
ベースプレートを便座受けプレートに取り付ける。
ねじ(M6×16)、固定板を使用し便座受けプレートに取り付けてください。

固定板の場合は平座金と歯付座金は使用しません。

POINT!
パッキンがつぶれて、ベースプレートが便座受けプレートに当たるまで締め付けてください。

B 平座金、歯付き座金タイプの取り付け

ベースプレートを、同梱のねじ(M6×16)、歯付き座金、平座金を使用し便座受けプレートに取り付ける。

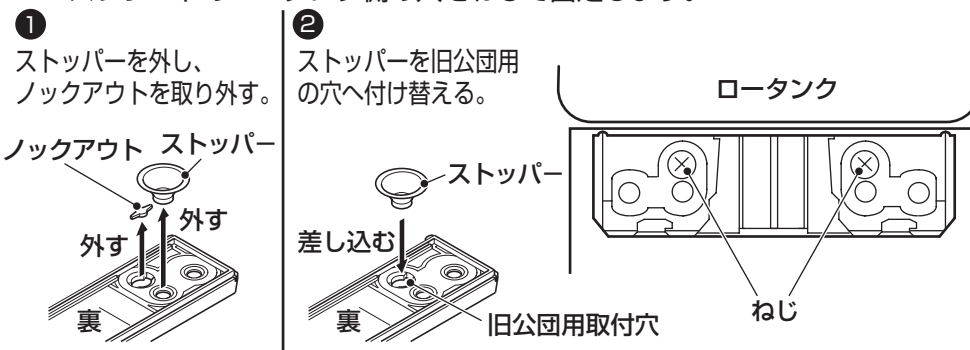
歯付座金には裏表があります。
ご注意ください。
くぼみ(2カ所)がある面がベースプレートと接触する側です。

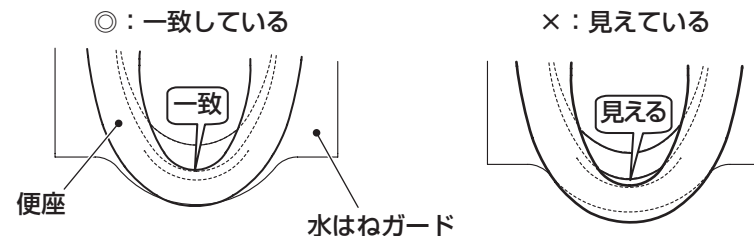
POINT!
パッキンがつぶれて、ベースプレートが便座受けプレートに当たるまで締め付けてください。

ベースプレートの取付位置の確認

標準サイズ便座の場合

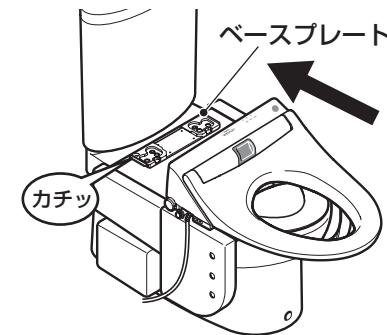
ベースプレートのロータンク側の穴をねじで固定します。

❶ ストッパーを外し、ノックアウトを取り外す。

❷ ストッパーを旧公団用の穴へ付け替える。

大形サイズまたは大形・標準兼用サイズ便座の場合

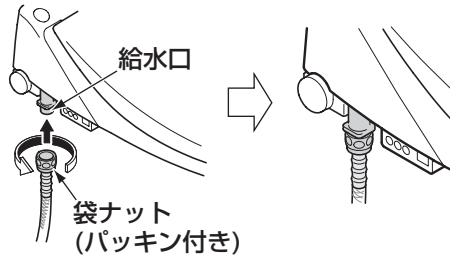
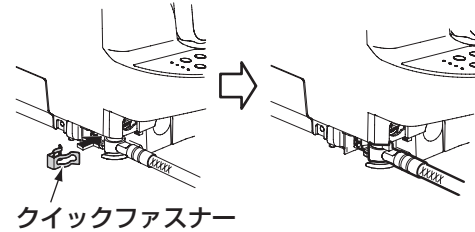
上方から見て「便座の内側」と「水はねガードの上面の端」が一致するようにベースプレートの取付位置を調整してください。

②ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込んでください。

③便座を手前に引っ張ってみて便座がベースプレートから外れないことを確認してください。

④便座の取り付け、取り外しを2、3回繰り返して、便座の取り付け、取り外しが問題ないことを確認してください。

※便器洗浄ユニット付きのウォシュレットの場合は便器洗浄ユニットのコードのプラグも接続してください。

5-4. 給水ホースの取り付け(ウォシュレットの場合)

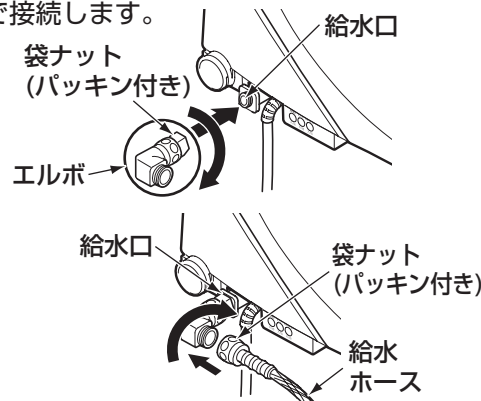
ウォシュレットの場合は、引き続き給水ホースを取り付けます。
ウォシュレットの種類によって本体と給水ホースの接続方法が異なります。ウォシュレットの説明書にてご確認願います。タイプ1の場合はトイレリフト同梱のエルボを取り付けます。

タイプ1
ウォシュレットと給水ホースを袋ナットで接続するタイプ→①へ進む

タイプ2
ウォシュレットと給水ホースをクイックファスナーで接続するタイプ→②へ進む

①給水ホースとウォシュレットをエルボで接続します。

(1) ウォシュレット本体をベースプレートから取り外します。

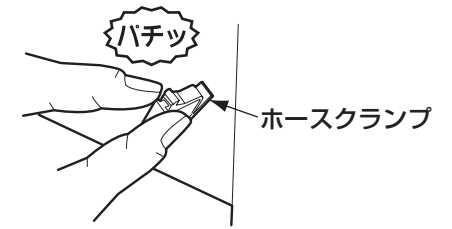
(2) ウォシュレット本体の給水口にエルボの袋ナットをモンキーレンチなどで締め付けてください。

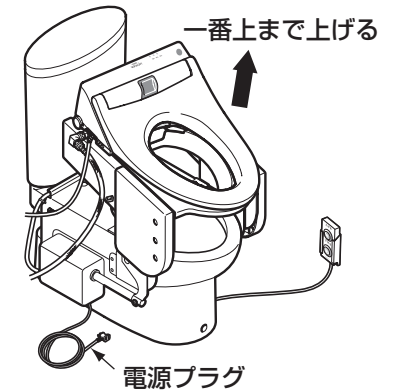
(3) エルボに給水ホースの袋ナットをモンキーレンチなどで締め付けてください。

(4) ウォシュレット本体をベースプレートに取り付けます。

警告	必ず実行	ウォシュレットへの給水は、必ずウォシュレット指定の給水ホースを使う 指定以外の給水ホースを使うと、商品の動作を妨げ、転倒してけがをする原因になります。
注意	必ず実行	袋ナットを締め付ける際は、給水口に無理な力が加わらないように注意する 給水口が破損して水漏れする原因になります。

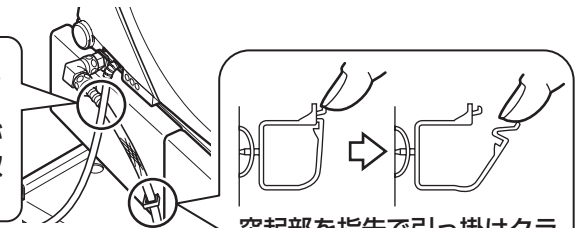
②ホースクランプを取り付けてください。

左側の後方カバーの穴に給水ホース用のクランプを奥まで押し込み取り付けてください。

右側の後方カバーの穴は使用しません。

③給水ホースを固定します。

(1) 操作スイッチで便座受けプレートを一番上まで上昇させ、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※これ以降の作業は必ずトイレリフトを一番上まで上昇させた状態で行ってください。

給水ホースはまだ分岐金具に接続しないでください。

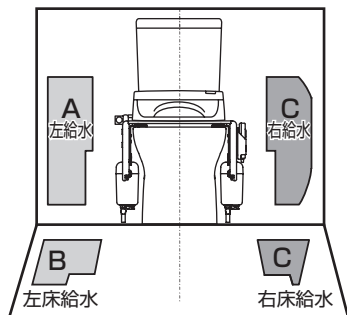
(2) 給水ホースをクランプで固定します。

ポイント
電源コードと給水ホースが同じ側から出ている場合は、ウォシュレットの電源コードが給水ホースの上にくるように取り付けてください。

④給水ホースの接続(壁・床側)

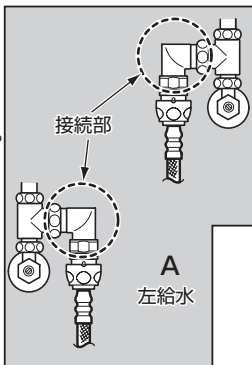
取り付けるウォシュレットの施工説明書に従って給水ホースを壁や床の給水栓へ取り付けます。
給水取出位置によって給水ホースの取り回し方が異なります。次ページを参考に給水取出位置を確認して分岐金具の向き、給水ホースの取り回しを調整してください。

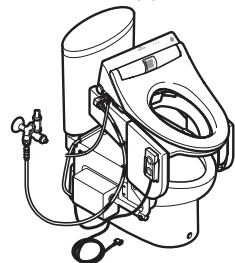
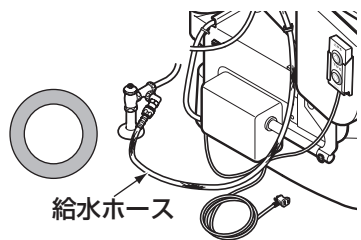
●それぞれの給水取出位置によって以下のように分岐金具の向きと給水ホースの取り回しを調整ください。

■給水取り出し位置について
詳細な寸法については、「2 お取り付け前の注意」を再度ご確認願います。

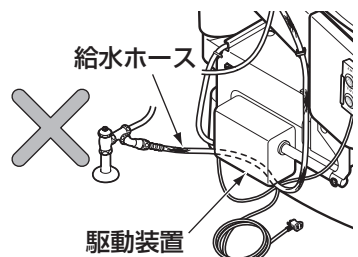
給水ホースが不足する場合は、適切な長さのホースをウォシュレットの施工説明書を参考に選んでご購入ください。

Aエリア(左壁給水の場合)

①給水ホースの接続部が給水取り出し範囲中に入るように、給水ホースを接続する。

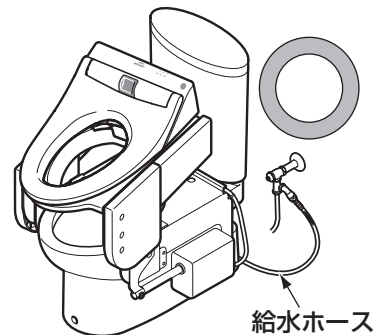
※左壁給水取り出し範囲

ポイント

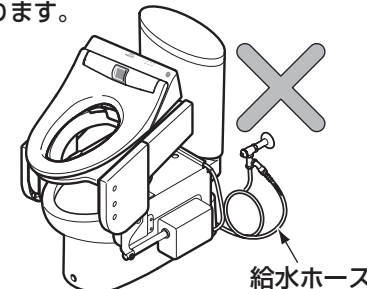
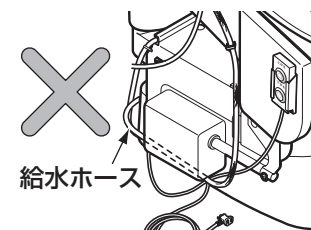
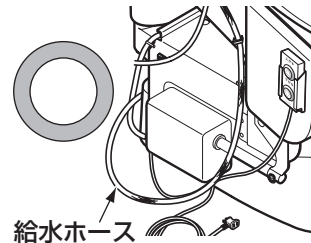
給水ホースを接続した状態。
このとき給水ホースがねじれていたり、駆動装置の下に入り込んでいないか確認してください。

Bエリア(左床給水の場合)

①給水ホースの向きが上図のようにトイレリフトから外側に向くように給水ホースを接続する。

ポイント

給水ホースが内側を向くと、給水ホースが駆動装置の下に入り込むため、トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。

Cエリア(右壁給水・右床給水の場合)

給水ホースの長さが不足しますので約2mのホースを別途ご用意ください。

①給水ホースを接続する。

ポイント

このとき図のように給水ホースを巻かないようにしてください。トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。

②給水ホースを接続したあと、トイレリフトの左側の給水ホースの状態を確認する。
下図のようにトイレリフトが一番上まで上昇している位置で、駆動装置と給水ホースとの間に十分な余裕がとれるように給水ホースの取り回しを調整する。

ポイント

給水ホースが駆動装置の下に入り込まないように注意する。
トイレリフトが昇降動作中にホースに無理な力が発生し破損するおそれがあります。

注意

禁止

給水ホースを巻いたり、駆動装置の下に入り込ませたりしない
便座の動きによって給水ホースが傷み、水漏れの原因になります。

⑤動作の確認

給水ホースを接続後、トイレリフトを昇降させて給水ホースに無理な力がかかったり、引っ張られたり、挟まれたりしないか確認する。
電源コードがトイレリフトに挟まれたり、無理な力がかかっていないか確認する。

※給水ホースの長さが足りないときは、設置するウォシュレットの施工説明書を参考にホースを選んでご購入いただき、ホースを交換してください。

6 アームレストの取り付け(EWC141型のみ)

※手順4の側面カバーを先に取り付けてください。

6-1. 支持脚の高さを調整する

支持脚の高さを調整したあとに、アームレストの取り付けを行います。

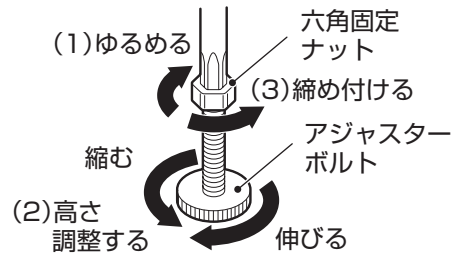
注意

必ず実行

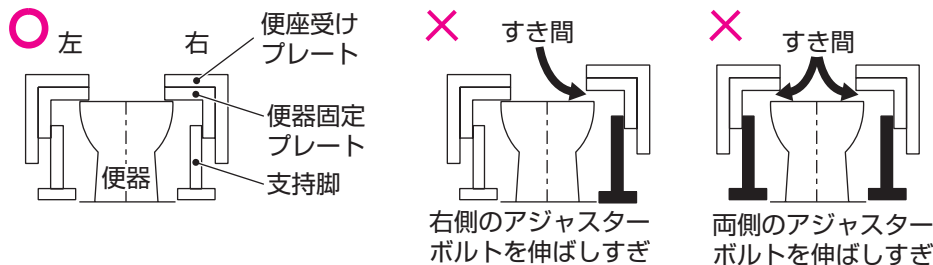
アームレストを取り付ける場合は、必ず床固定プレートを木ねじで締め込んで支持脚を床固定する

アームレストや便器が傾いて、転倒してけがをしたり、水が漏れて室内浸水の原因になります。

①操作スイッチを操作し、便座受けプレートを一番上まで上昇させてください。

②支持脚の高さを調整します。
六角固定ナットをモンキーレンチでゆるませ、アジャスターボルトを回し、アジャスターボルトが床に触れるか触れない程度に調整してください。
調整できましたら、六角固定ナットを締め付け、アジャスターボルトが動かないように固定してください。

便器と便器固定プレートの接触状態を前方から見た図

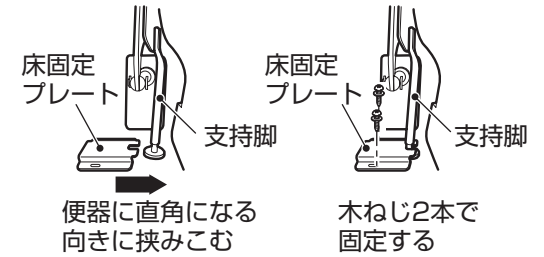
右側のアジャスターボルトを伸ばしすぎ

両側のアジャスターボルトを伸ばしすぎ

警告

必ず実行

床固定する場合、支持脚を便器の高さに合わせて調整を行う

高さ調整が不適切だと、アームレストが傾いて、転倒してけがをする原因になります。

③支持脚を床に固定します。
支持脚を床固定プレートで図のように挟み込み、床固定木ねじで固定してください。

警告

必ず実行

床が木下地の場合、木下地は12mm厚以上の構造用合板(JAS 規格品)、または同等以上の下地材に取り付ける

商品が外れ、転倒してけがをする原因になります。

6-2. アームレストを取り付ける

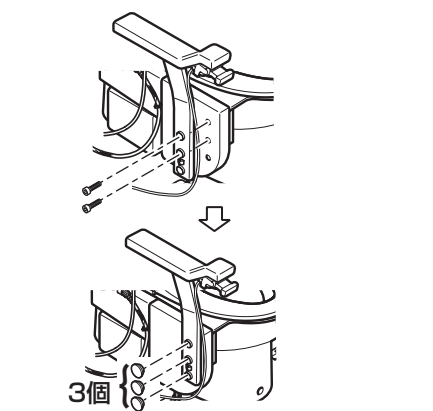
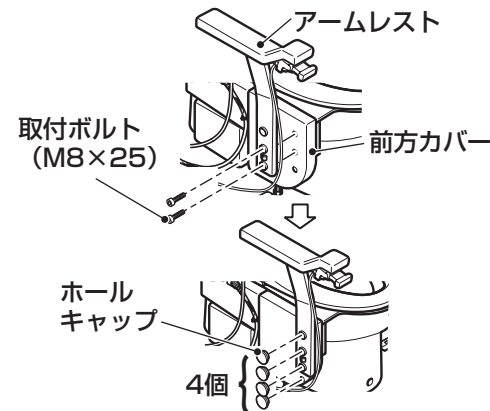
アームレストの高さは5cm間隔で2段階に設定できます。
ご使用者の使いやすい高さに設定してください。

注意

アームレストを低い位置にすると、袖部に操作スイッチのあるウォシュレットでは操作しづらくなることがあります。

①アームレストを六角レンチ（呼び6）を使用し、取付ボルトにて固定する。
②ホールキャップを取り付けてください。

高い位置に取り付けする場合

低い位置に取り付けする場合

警告

必ず実行

使用していくうちにボルトがゆるまないようにボルトをしっかりと締め付けてアームレストを固定する

アームレストが外れると、転倒してけがの原因になります。

注意

必ず実行

六角レンチを六角穴付きボルトに押さえ付けながら回す

押さえ付けないで回すと、レンチが空回りし、ボルトの穴をつぶす原因になります。

7 操作スイッチの取り付け

7-1．コードクランプの取り付け

①リモコンコードに付属しているクランプを駆動装置後方に取り付けてください。コードを踏まないように、床に垂らさないでください。

後方
駆動装置
前方

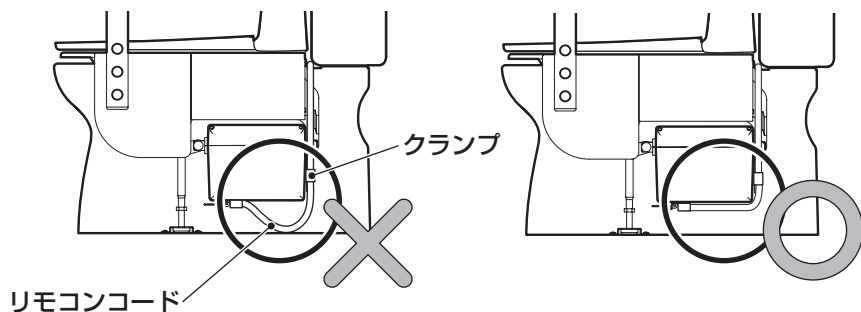
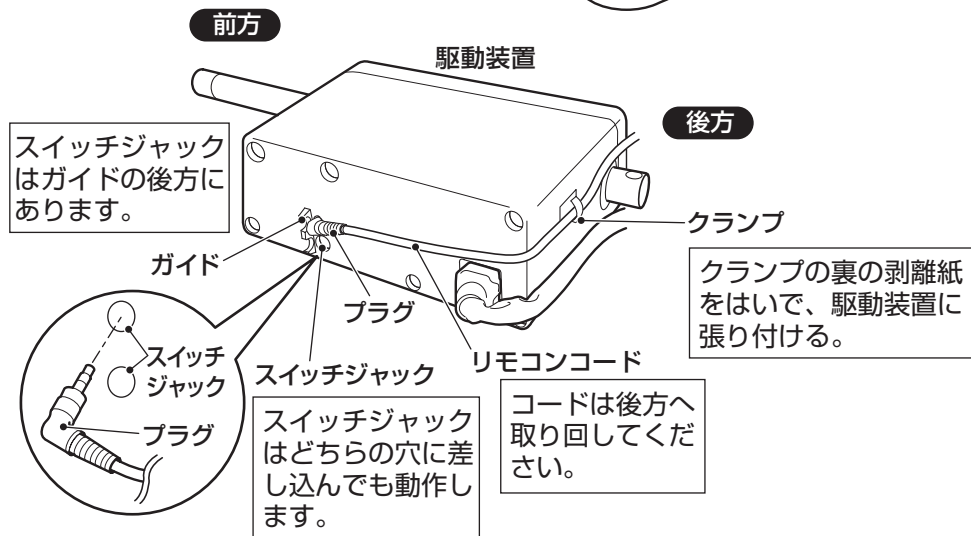
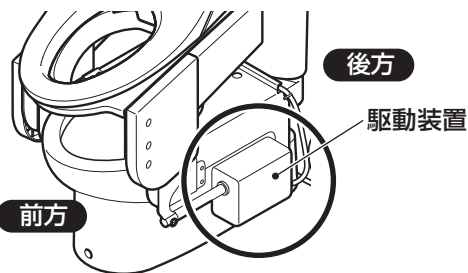
前方
駆動装置
後方

スイッチジャックはガイドの後方にあります。

ガイド
クランプ
クランプの裏の剥離紙をはいで、駆動装置に張り付ける。
プラグ
スイッチジャック
リモコンコード
スイッチジャック
プラグ

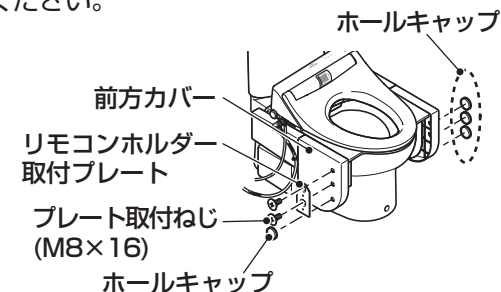
スイッチジャックはどちらの穴に差し込んでも動作します。

コードは後方へ取り回してください。

クランプ
リモコンコード

7-2．アームレストなし、リモコンスイッチの場合(EWC140型)

リモコンホルダーはお客様のお好みに合わせて、「トイレリフトへの取り付け」あるいは「壁への取り付け」をお選びください。

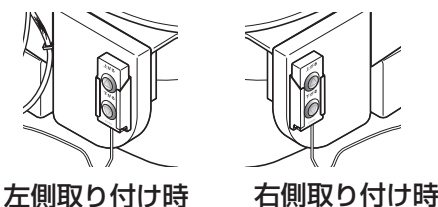
トイレリフトへの取り付け

①前方カバーにリモコンホルダー取付プレートをプレート取付ねじで固定してください。左右どちらでも取り付け可能です。 前方カバーの上2つの穴を利用します。

②ホールキャップを取り付けます。
トイレリフト前方カバーの穴（リモコンホルダーを取り付けた側１カ所、取り付けない側3カ所）にホールキャップを取り付けてください。

③リモコンホルダーを取り付けます。
リモコンホルダーを、ホルダー取付ねじを使い、リモコンホルダー取付プレートに2カ所固定してください。

④リモコンをリモコンホルダーに差し込んでください。

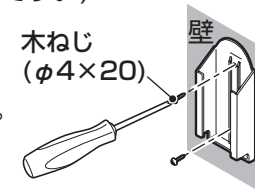
左側取り付け時

右側取り付け時

ポイント
リモコンが差し込みにくい場合は、③で取り付けたねじをホルダーがガタつかない範囲で少しだけゆるめてください。

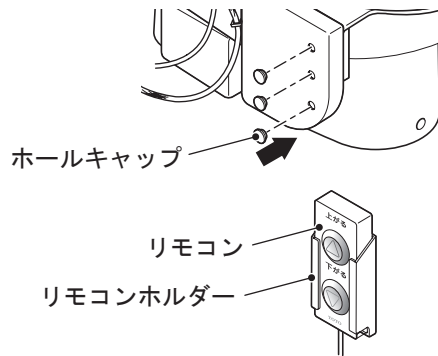
壁への取り付け

【操作性の確認】
ご使用者の方にトイレリフトにお座りいただき、昇降させて使いやすい位置に取り付けてください。(リモコンスイッチのコードは3mです。)

①リモコンホルダーを取り付けます。
ホルダー取付木ねじを使い、取り付けてください。

・壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
・石膏ボードやタイル壁の場合は、市販のアンカープラグを使って取り付けてください。

②ホールキャップを取り付けます。
トイレリフト本体前方カバーの左右両側の3カ所の穴にホールキャップを取り付けてください。

③リモコンをリモコンホルダーに差し込んでください。

ポイント
リモコンが差し込みにくい場合は、①で取り付けた木ねじをホルダーがガタつかない範囲で少しだけゆるめてください。

7-3. アームレスト付き、レバースイッチの場合(EWC141型)

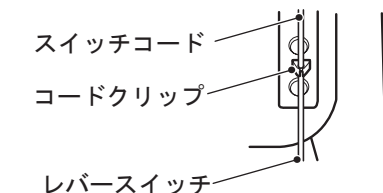
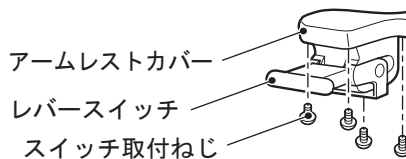
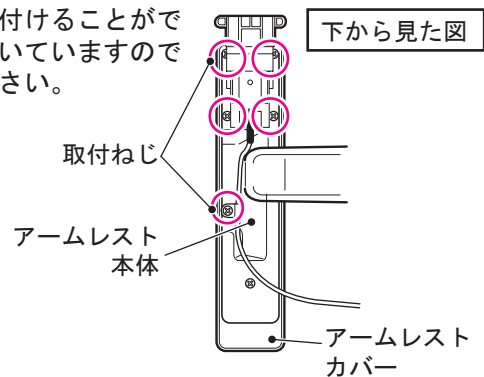
レバースイッチは左右どちら側にも取り付けることができます。出荷時は左側アームレストについていますので移動する場合は、次の手順に従ってください。

①レバースイッチをアームレストに固定している4本のねじとスイッチコードクランプを留めているねじを取り外してください。

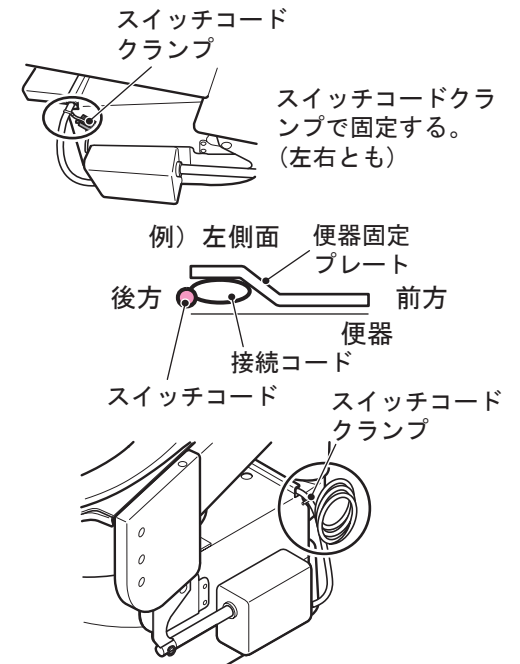
②同様に、反対側のアームレストのアームレストの前方4本のねじを外してください。

下から見た図
取付ねじ
アームレスト本体
アームレストカバー

③①、②で外したねじを左右入れ替え、それぞれ逆のアームレストに固定してください。

④コードクリップにレバースイッチのコードを固定してください。

7-4. リモコンコードの取り回し

①正面向かって左側にレバースイッチやリモコンを設置する場合は、トイレリフトを最上端まで上昇させた状態でスイッチの配線が引っ張られないように、駆動装置間の接続コード同様にスイッチコードを渡してスイッチコードクランプで固定してください。

②コードが長すぎる場合は、コードが挟まれないように、コードバンドなどで束ねて、スイッチコードクランプにとめてください。

注意

必ず実行

トイレリフト本体や便座などに引っ掛かるなどしてスイッチコードに無理な力がかからないことを確認する
コードの断線、破損の原因になります。

8 水はねガードの取り付け

8-1. 水はねガードの取り付け

①便座をはね上げます。

②水はねガードを便座受けの穴におさまるように差し込みます。

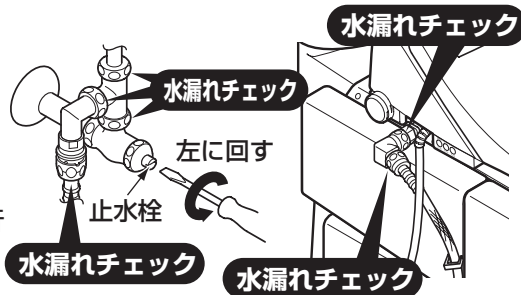
③便座を元の状態に戻します。

※上記①→③の逆の要領で水はねガードを取り外せます。

7 試運転

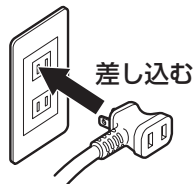
1. 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部にゆるみがないか、再確認する
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体給水接続部より水漏れがないことを確認する

※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

2. 給水ホース、電源コードの確認

- ウォシュレットおよびトイレリフトの電源プラグをコンセントに根元まで差し込んでください。

※トイレリフトの電源プラグは、プラグの上からウォシュレットなど便座の電源プラグを差し込むことができます。必要に応じてご使用ください。

差し込む

- トイレリフトのスイッチを操作し、トイレリフトを2～3度連続で昇降させ、その間に給水ホースや電源コードに無理な力がかかったり、挟まれたりしていないことを確認してください。また、電源コード、スイッチコードがトイレリフトに挟まれないことを確認してください。

※給水ホースが駆動装置の下に入り込んだり、挟まれたりする場合は再度「5-4 給水ホースの取り付け(ウォシュレットの場合)」を参照して調整してください。

3. トイレリフトの機能を確認する

①操作スイッチ(リモコンスイッチ／レバースイッチ)座面を上げ、その状態で一番上まで上昇した際、自動的に停止することを確認してください。
②操作スイッチ(リモコンスイッチ／レバースイッチ)で座面を下げ、その状態で一番下まで降下した際、自動的に停止することを確認してください。
③操作スイッチ(リモコンスイッチ／レバースイッチ)で座面を昇降させ、スイッチから手を離すと昇降が自動的に停止することを確認してください。

8 取り付け後の点検（チェックリスト）

チェックリストに従い、取り付け状態を確認する

点検		点検内容	チェック
取り合い	ドアの開閉	トイレのドアを開閉したとき、トイレリフトに当たりませんか。	
	紙巻器、手すりなど	トイレリフトを昇降させたとき、紙巻器や手すりなどに当たりませんか。また手挟み、指挟みはしませんか。	
	便器、タンクなど	便器、ロータンク、給水金具、排水管などと接触している部分はありませんか。	
取り付け	高さアジャスター	トイレリフトの脚は床に接する程度に高さアジャスターが調整されていますか。（EWC141型（アームレスト付き）の場合）	
	床固定	トイレリフトの脚は床固定プレートで確実に固定されていますか。（EWC141型（アームレスト付き）の場合）	
	操作スイッチ	操作スイッチ（リモコンスイッチ／レバースイッチ）は確実に固定されていますか。	
	便座固定	便座はトイレリフトに確実に固定されていますか。	
	アームレスト	アームレストにガタツキはありませんか。（EWC141型（アームレスト付き）の場合）	
給水ホース	接続	各接続部はパッキンを使用し確実に接続されていますか。	
		給水ホースはホースクランプに確実に固定されていますか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、給水ホースに無理な力がかかっていませんか。	
	水漏れ	各接続部から水漏れはありませんか。	
電気接続	電源コード、アースコード	ウォシュレットなどの便座のアースコードは確実に接続されていますか。	
		トイレリフトおよびウォシュレットなどの便座の電源コード、アースコードに足を引っ掛けるようなたるみはありませんか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、トイレリフトおよびウォシュレットなどの便座の電源コード、アースコードに無理な力がかかったり、挟まれたりしていませんか。	
	接続コード	トイレリフトを昇降させたとき、本体カバーが接続コードと干渉していませんか。	
	スイッチコード	スイッチコードが床に垂れて足を引っ掛けるような状態になっていませんか。	
		トイレリフトを昇降させたとき、スイッチコードに無理な力がかかっていませんか。	

9 工事店様へ

・取り付け後は商品の使いかたについてお客様に説明してください。

- 工事完了後は取扱説明書（保証書付）、施工説明書、および使わなかった部材（ホールキャップ、リモコンホルダー取付プレートなど）をお客様にお渡しください。
- 保証書には、お取付店名およびお取付日を必ず記入してください。
- ウォシュレット以外の便座をご使用の場合でも、後日ウォシュレットに交換する場合に給水ホース接続部品(エルボ、ホースクランプ)が必要となりますので、工事完了後にお客さまにお渡しして保管くださるよう説明ください。